

平成 30 年度 北区地域支援連絡会議

第 1 回 議題 「多くの課題を抱える世帯を支えるためには」

◆ 世帯全体を支えるためには、どのように情報共有し、どういう場を作っていくのか

- ・ 多くの課題を抱える世帯を支えるためには、世帯の一人一人を専門職が支援しており、高齢者は地域ケア会議、児童は要保護児童対策地域協議会、障がい者はコアメンバー会議で、個々の支援対策は立てることが出来る。
- ・ 地域では「その家族が困っている」と世帯を支援しなければとの思いがある。
- ・ そのため、制度の枠を超えて、支援者や地域が集まって支援方針を話し合い、“世帯全体を支えていく場”が必要である。

第 2 回 議題 「総合的な相談支援体制(つながる場)の開催にあたって」

◆ 総合的な相談支援体制「つながる場」(別紙 2-1 参照)を試行実施

- 試行実施で見えてきたもの
 - ・ 「世帯」単位で検討する必要がある
 - 個人へのアプローチでは解決が難しい

◆ 総合的な相談支援体制「つながる場」の実施の際に考慮すること

行政の役割

- ・ 地域の役員や支援者の果たしている役割を理解したうえで、会議の参加を呼びかける。
- ・ 地域住民は、「つながる場」の開催後も当時者と寄り添い続けなければならないことに留意する。